

JAB 世界につながる ラボラトリ認定

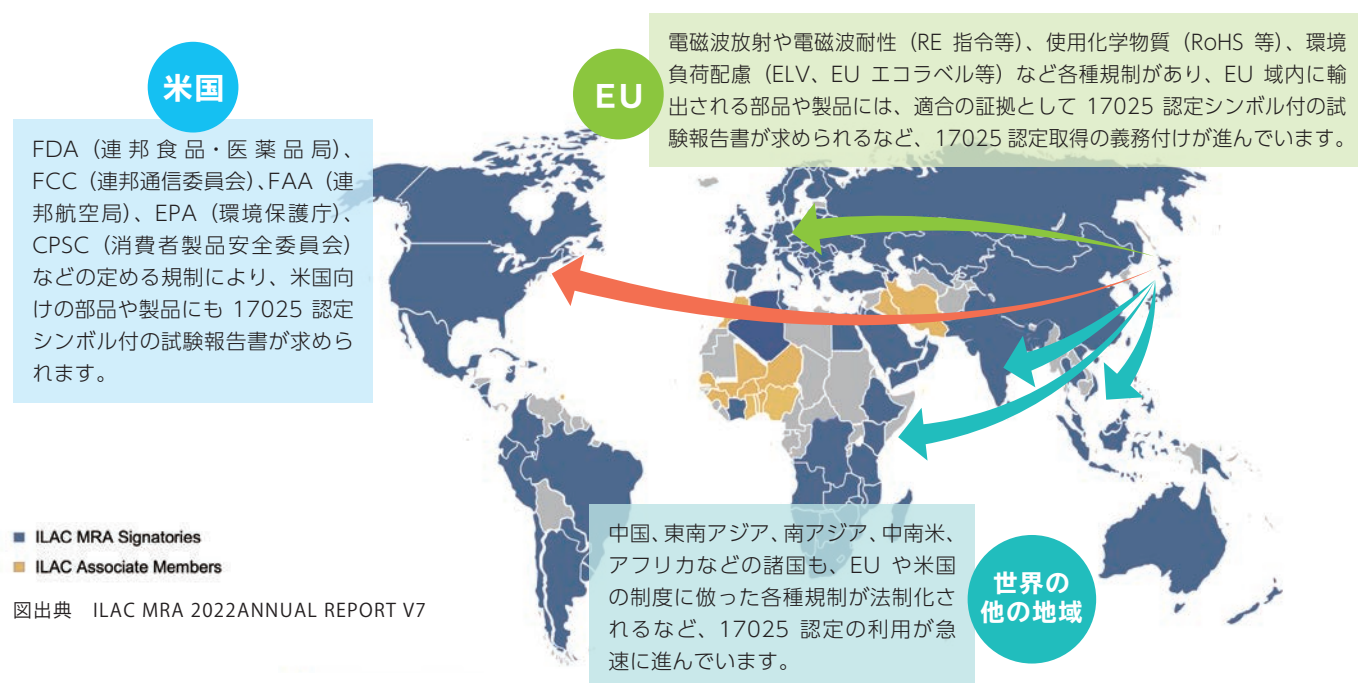
【ラボラトリ】試験所、校正機関など

ISO/IEC
17025

ISO/IEC 17025 試験所認定のグローバル市場での活用

「試験報告書」の信頼性につながる世界共通の答えは、そのラボラトリが ILAC（国際試験所認定協力機構）に署名した認定機関から ISO/IEC 17025 ラボラトリ認定（以下「17025 認定」という。）を取得していることです。下図の例の通り 17025 認定が表明された試験報告書が要求される事例が世界中で増えており、貿易手続き円滑化の手段としても有用です。

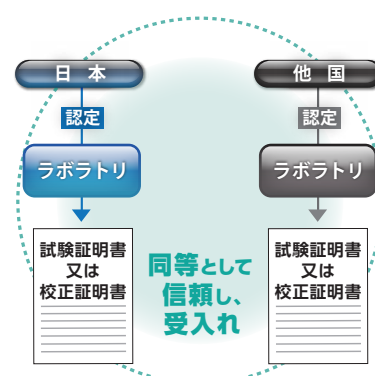
ILAC MRA署名認定機関の世界への拡がり



ILAC MRA国際相互承認



相互承認された機関に認定されたラボラトリ、及びラボラトリが発行した試験報告書、校正証明書は、同等として（信頼できるものとして）互いに受入れられます。



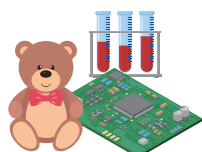
世界につながるラボラトリ認定

ISO/IEC
17025

機械・物理

鉄鋼・非鉄金属の大手メーカーでは 17025 認定が浸透し、引張、硬さ、疲労などの機械特性や腐食、ミクロ組織などの物理特性の各種試験に活用されています。またコンクリートの圧縮試験や成分分析、骨材の粒度試験などでは 17025 認定が JIS マーク認証の試験実施者の資格要件になるなど、基幹材料の信頼性向上に役立っています。

これらの基幹材料に加え、人体に埋め込まれるインプラントや機能性プラスチックなど新素材の特性試験や、建機の強度試験など、新しい分野での認定事例が増加しています。

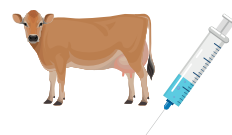


化学

化学品や生活用品に使用される化学物質は、各国の有害化学物質規制（例：EU の REACH 規制、米国の CPSIA 規制等）により管理されています。素材や製品の機能性向上に伴い、重金属から PFOS・PFOA 等規制される対象物質は年々増加し、17025 認定の需要はますます高まっています。

生物科学

国際獣疫事務局（WOAH）が指定する動物疾病のリファレンスラボラトリーや世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の認定分析機関は 17025 認定取得が義務付けられています。また、17025 認定は行政によるダイオキシン類測定調査の入札参加資格としても利用されています。



電気

電気製品の国際的な省エネ制度である米国 EPA のエネルギースタープログラムでは、製品の省エネ達成レベルの第三者認証を受け、エネルギースターラベルの製品貼付が可能となりますが、17025 認定の試験報告書の提出が要件とされています。

自動車産業

グローバル化の進む自動車産業の国際規格 IATF 16949（自動車産業品質マネジメントシステム規格）の認証においても、17025 認定の試験データや校正データが要求されています。そのため、車載制御機器・電子機器に使用される半導体や、配線、リチウムイオン電池の性能・安全試験、電子機器類の EMC 試験、内装やパネルの材料試験などの 17025 認定取得が進んでいます。



放射線モニタリング

2023 年 10 月 1 日施行の RI 規制法施行規則の改正により、外部被ばくによる線量の測定には 17025 認定が必要になりました。JAB では放射線個人線量測定サービス事業者を対象とした 17025 認定を提供しており、原子力施設、病院、研究所などで働く放射線業務従事者の被ばく管理に貢献しています。

校正

計測器の示す値は少なからずズレを持っており、そのズレを知ることを校正と呼んでいます。ズレを知るための計測器を標準器と呼びますが、この標準器の示す値もまた別の標準器で校正されます。この連鎖である測定のトレーサビリティは、ILAC MRA 校正証明書が証明します。



公益財団法人
日本適合性認定協会
Japan Accreditation Board

JAB



Webサイト

